

2015年7月30日(木) 13時30分から秋葉原UDXで開催

富士通ライフサイエンスフォーラム 2015 in TOKYO

謹啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度弊社では、2015年7月30日(木)に「富士通ライフサイエンスフォーラム2015 in TOKYO」を開催することとなりました。

昨今、ライフサイエンス分野においてイノベティブな技術や製品の創出が世界的課題となる中、国内ではアベノミクスの成長戦略の一つとして医療産業が位置づけられており、産官学連携や革新的新薬創出を目的に、法制度の改正をはじめ様々な政策が実施されています。この度「富士通ライフサイエンスフォーラム2015 in TOKYO」では医療・医薬の枠組みを超え、お客様のビジネスを発展・変革させていく為のご検討材料ならびに解決の一助となるものをご提示してまいります。併せて、各企業様間の交流を兼ねたご懇談としてご活用いただきたく願っております。

ご多用の折とは存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ともご来場賜りますようご案内申し上げます。

謹白

開催概要

開催日	2015年7月30日 木曜日	
時間	13時30分～17時15分(13時より受付開始) 17時25分～19時00分(ネットワーキングレセプション)	
会場	秋葉原UDX[秋葉原] 東京都千代田区外神田 4 - 1 4 - 1	
	JR線 JR 山手線・総武線 秋葉原駅 電気街口 徒歩2分	地下鉄 東京メトロ 日比谷線 秋葉原駅 3番出口 徒歩4分 東京メトロ 銀座線 末広町駅 1番出口 徒歩3分 つくばエクスプレス 秋葉原駅 A1出口 徒歩3分
定員	180名	
主催	富士通株式会社 産業ビジネス本部 ライフサイエンス統括営業部	
参加費	無料	

講演概要

13:00～	受付開始	
13:30～	開会のご挨拶 富士通株式会社 執行役員 広瀬 敏男	
13:40～	基調講演 国立大学法人 東京医科歯科大学 名誉教授 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長 特別補佐 田中 博 先生 「医療ビッグデータと創薬への応用～ドラッグリポジショニングへのアプローチ～」	
14:30～	特別講演 一般社団法人日本CRO協会 副会長 渡辺 敏彦 様 「日本CRO協会の取り組みと今後の医療ビッグデータ時代への対応」	
15:20～	コーヒーブレイク/ブース展示	
15:35～	医薬品業界向けソリューション・サービスのイノベーションに向けて～Shaping tomorrow as One Fujitsu～ + デモブースご紹介 講演者：富士通株式会社	
16:15～	コーヒーブレイク/ブース展示	
	[Aトラック]	[Bトラック]
16:35～	申請電子データ提出に備える最善の方法を考える 講演者：富士通株式会社	近未来型MR活動強化に向けた富士通からのご提案 講演者：株式会社富士通総研 株式会社富士通システムズ・ウエスト
17:15	閉会・アンケート記入	
17:25～	ネットワーキングレセプション	

会場ご案内

■ 会場：秋葉原UDX

<http://udx.jp/access/>

〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX

- ・JR 山手線・総武線 秋葉原駅 電気街口 徒歩2分
- ・東京メトロ 日比谷線 秋葉原駅 3番出口 徒歩4分
- ・東京メトロ 銀座線 末広町駅 1番出口 徒歩3分
- ・つくばエクスプレス 秋葉原駅 A1出口 徒歩3分



ご参加のお申し込み

富士通「ライフサイエンスソリューション」の
ホームページのイベント・セミナーにお申込用Webをご用意しております



<https://seminar.jp.fujitsu.com/public/seminar/view/3075>

お問合せ先

富士通ライフサイエンスフォーラム2015 事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

富士通株式会社 産業ビジネス本部 ライフサイエンス統括営業部

E-mail : contact-life-forum@cs.jp.fujitsu.com

講演内容

基調講演

医療ビッグデータと創薬への応用～ドラッグリポジショニングへのアプローチ～

東京医科歯科大学 名誉教授

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長 特別補佐 田中 博 先生

東京医科歯科大学 名誉教授（生命情報学）田中 博先生にご講演頂きます。田中先生は同学教授の他、東北大学 東北メディカル・メガバンク機構の機構長 特別補佐も務めていらっしゃいます。専門の生体医工学、医療情報学、複雑系科学、人工知能の医療応用研究から、バイオインフォマティクス、システム進化生物学、オミックス医療などにおいて新概念をご提案されてきました。その成果として総務省・情報通信月間推進協議会会長表彰をはじめ数々の受賞歴をお持ちでおられます。本講演では、医療ビッグデータの現状を踏まえ、合理的ドラッグリポジショニングへのアプローチをはじめデータの創薬への応用、および今後の製薬メーカーへの期待についてお話頂きます。

基調講演

日本CRO協会の取り組みと今後の医療ビッグデータ時代への対応

一般社団法人日本CRO協会 副会長 渡辺 敏彦 様

渡辺様は国内製薬企業で17年間統計解析業務に従事され、その間、日本製薬工業協会の活動を通じICHでは規制情報電子化標準を担当されました。その後、株式会社ベルシステム24にてCRO部門（現、株式会社ベル・メディカルソリューションズ）の立ち上げにご従事され、また、2004年からは日本CRO協会で統計及びデータマネジメントの拡充に関わる活動に参加し、現職に至ります。本日は、日本CRO協会のこれまでの取組と、今後の医薬品開発における自主的なプレーヤーとしてのビジョンと医療ビッグデータへの取組等についてご講演頂きます。

富士通の方針

医薬品業界向けソリューション・サービスのイノベーションに向けて

富士通株式会社

2016年の承認申請等電子化の動向を踏まえ、今準備すべき事は何か？また、電子申請後の変革により発生する変化とは？「医薬品医療機器等法（旧薬事法）」の改定により、派生する環境の変化は、単に電子申請ということではなく、個別化医療、再生医療を加え、従来のサプライチェーンやライフサイクルに影響を与える大きなパラダイムシフトとなり得る大きな改革です。今後計画している新たなソリューションやご提案をご紹介します。

Aトラック

申請電子データ提出に備える最善の方法を考える

富士通株式会社

2016年から始まるCDISC対応の電子申請の備えは、直近の重要な課題と認識しています。その準備を「規制当局による申請書類のレビュー効率化」の実現だけではなく、『治験のQCD改善・データ再利用性の向上・データ交換の促進等』を具体化するための弊社取り組みとソリューションについてご紹介いたします。

Bトラック

近未来型MR活動強化に向けた富士通からのご提案

富士通総研/富士通システムズウエスト

昨今の環境変化に伴い、製薬企業における近未来型の顧客接点強化とは何か。そのコンセプトのご紹介と、新たな医療シーンにおける製薬会社とMRの価値創造についてご紹介します。